



近江商人の住宅が建ち並ぶ新町の重伝建地区。滋賀県近江八幡市（撮影／米山淳一）

## 保存と経営による地域ブランドの形成

公益社団法人横浜歴史資産調査会会長 古賀 学

保存という行為において大切なのは経営という視点です。今までの保存行為に一番欠如していたのが経営という視点であるともいえます。ここでいう経営は一企業や組織の金儲けではないことは自明の理であり、必要なのは地域経営という視点です。

ご存じのように鉄道の経営において、列車の運行主体と鉄道インフラの維持管理を担う主体を別の組織とする上下分離方式があります。JR貨物の経営方式から始まり今日では地域鉄道の生き残り策の1つとして取り入れられています。周知のとおりこれは分かれることによる単なるリスク分散ではなく、参画する主体のそれぞれの良さを生かしてさらに一体化することによる経営の安定化を目指そうとするものです。駅周辺の住民や提供する食や装飾品など地域をも巻き込んだ観光列車は、さらに主体の細分化と一体化した経営の在り方を示すものであるともいえます。

自然も同様の問題を抱えています。持続的に自然を経営する。そのためには人的な努力に加え金銭的な支援が不可欠です。そのために行われ始めたのがエコ・ツーリズムです。エコ・ツーリズムは、自然を保護・保全するための資金を得るための1つの手法として取り入れたものです。しかし、行政を始め

関連団体や地域の実践を見てもそうした理念や原理は影を潜め、成功事例をみることはほとんどありません。保護とそのために必要な金銭とのよりよいサイクルが地域の中で確立されていない。理想と現実が結びついていないとも言えます。

私の好きなまちの1つに近江八幡があります。ここは江戸初期から琵琶湖周辺で活躍した近江商人発祥の地の1つでもあります。近江商人といえば、「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の三方よしの商法がありますが、まさに地域経営のあるべき姿を指しているといえます。江戸日本橋にも大きな影響力を与えたこのまちの人々の今に至る普通の暮らしぶり美しい街並みが好きです。またヴォーリズによる洋風の混在もまたいい。街角のあちこちでは絵を描く人が。描きたいはよいまちの最大の評価指標です。より良き地域経営はこのような美しい街並みを形成するための不可欠な手法の1つであるといえます。

調査会においても、歴史的な建物が持つパワーをさらに拡大し、古くそして新しい地域文化のブランドイメージの確立を果たせるよう1つ1つの事業を推進していく所存であります。関係各位のますますのご協力・ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

# 公益社団法人横浜歴史資産調査会 令和6年度事業計画

当公益社団の豊かな暮らしを創造する「歴史を生かしたまちづくり」は、個性あふれるまちの貴重な資源となっている歴史的資産の調査、保存、活用、普及の4本柱のもとに事業を推進しています。将来にわたり、地域の皆さんが丸となってまちづくりを推進するための必要な事業であるとの認識のもと、6月12日の総会の承認を経て、以下の基本的考え方に基づいて、引き続き令和6年度事業を実施いたします。

日頃から歴史的景観形成に必要な歴史的建造物等を失わないため、歴史的資産の保全と活用に関する調査研究、取得・保存、修理・復原、維持・管理等の事業や、歴史的資産に関する人材育成及び普及啓発活動を実施いたします。合わせて、「歴史を生かしたまちづくり」を推進するためには、市民の理解や支援を得るとともにこれらに積極的に取り組むことができる人材を確保することが重要となるため、「歴史を生かしたまちづくり」に関するセミナー、シンポジウム、見学会等を開催します。  
(常務理事 米山淳一)

## (1) 調査事業

### 〈横浜市都市整備局からの負担金事業〉

#### ① 横浜市との協定書に基づく建造物保全・活用計画関連調査

歴史的建造物を保全、活用するため、横浜市都市整備局との協定書に基づく調査事業として歴史的建造物保全活用計画関連の調査等を実施します。

この調査は、所有者へのヒアリング、歴史的建造物に関する文献調査、写真撮影、現地確認、地図へプロットする方法等により実施し、調査によって得られた知見を当公益社団の公益目的事業である「歴史を生かしたまちづくり」の内容検討に活用するとともに、具体的な歴史的建造物の保全・活用における方針の策定や横浜市登録、認定歴史的建造物に向けた課題を整理し、所見の作成等を行います。

また、野毛都橋商店街ビルの将来に亘る保存・活用計画調査を行います。



山手の元町公園にたたずむエリスマン邸



豊かな住環境を維持する西洋館群

### 〈自主事業〉

#### ① 建築家J.H.モーガン自邸の再建に向けた調査(藤沢市)

火災により焼失した建築家J.H.モーガンの自邸の再建を目的に事業を行って参りました。令和3年度に当公益社団に設置した「旧モーガン邸再建委員会」を中心として、NPO法人旧モーガン邸を守る会・藤沢市等と連携し、「復元再生調査報告書」(平成29年度実施)に基づいて再建に向けた具体的な再建、活用、管理のための調査等を継続いたします。合わせてモーガン邸再建委員会やワーキング会議を引き続き開催します。

#### ② 山手地区西洋館などの保全対策調査

令和4年から5年にかけて山手地区西洋館の保存、活用のあらたな展開を模索するため所有者、関係団体などにヒヤリングを行って来ました。新たに令和5年度から都市デザイン室が歴史まちづくり法にもとづく環境保全事業等をおこなうことになりましたが、当公益社団は独自に将来にわたる西洋館や周辺の歴史的資産の保存活用に向けてヒヤリングを行います。

\*参考:開港五都市の函館市元町、末広町、神戸市北野地区、長崎市東山手、南山手地区は国の重要伝統的建造物群保全地区に選定されています。

#### ③ 「歴史を生かしたまちづくり相談室」対象調査

##### ◎ 西教寺の文化財指定や認定に向けた調査

(横浜市南区三春台)

西教寺本堂は、昭和6年建造の鉄筋コンクリート造の市内では稀な建物です。「歴史を生かしたまちづくり相談室」の案件として取り上げ、現況調査や文献調査等を行い対応して来ましたが、今後、横浜市指定文化財へ向けた調査や助言を積極的に行います。

##### ◎ 稲荷山の生糸商の現況調査

(長野県千曲市稲荷山・重要伝統的建造物群保存地区)

稲荷山地区は、信州の絹文化の交流拠点としてまた、横浜と生糸交易で繁栄しました。現在でも約650mに及ぶ歴史的町並みには、かつての反物や生糸関連の土蔵造り商家が軒を連ね、当時の賑わいを偲ぶことができます。地元の研究者と共に稲荷山と横浜の交易に関する調査を行い、絹産業がもたらした地域の経済、文化交流の証を解き明かします。また、絹文化を紹介する交流文化拠点整備を検討いたします。



鉄筋コンクリート造の西教寺は文化財的価値充分



稲荷山の町並みは重伝建地区

◎横浜焼き・井上良斎窯場等の保全対策調査  
(横浜市南区南永田)

近代横浜の陶磁器産業として眞葛焼きと並び発展したのが横浜焼きです。現在、登り窯や作業場、住居が当時のまま残る貴重な事例で、所有者により保存されています。当地は湧水が豊富で、その地形を利用した自然観察の場としても活用されています。将来にわたり、歴史的陶磁器生産の場と谷戸の自然地を併せ持った地域資産として保全する方策等を市民、行政、専門家、当公益団が力を合わせて行います。

◎谷戸家住宅の現況調査(横浜市磯子区滝頭)

磯子区滝頭に残る近代和風住宅(昭和5年)で、親子二代に亘って住み続けるための方策や地域の文化交流拠点としての可能性を探ります。また、建物の現況把握調査を行っています。なお、令和6年度は、所有者の意向を確認し、国の登録有形文化財や横浜市登録や認定歴史的建造物に向けた建物可能性を整理し、実現に向けて事業を推進します。

◎旧長濱検疫所一号停留所の保存に向けた市民活動調査  
(横浜市金沢区長浜)

旧長濱検疫所一号停留所は、大正期に再建された歴史的建造物で、国の登録有形文化財です。所有は厚生労働省ですが、近くの金沢区内の公園への移築計画があり、この建物の保存に向けた方策を市民団体の考えを尊重し、方向性を見いだす活動を引き続き行います。

(2) 保護事業

歴史的資産の調査結果に基づき、保護事業を行います。保全が必要とされる歴史的建造物等には支援体制を整えます。さらに、保護事業対象として位置付けて選定し、保存、活用を目的に取得、修理、管理等の取り組みを積極的に行います。

〈自主事業〉

①「野毛都橋商店街ビル」の保全・管理

当公益団の保護資産第1号である「野毛都橋商店街ビル」の保全・管理を行います。横浜市都市デザイン室と力を合わせ、将来に亘る保全・管理計画を策定します。

②「旧湘南電鉄瀬戸変電所」の保存・活用

湘南電気鉄道創業時(昭和5年)の歴史的建造物を京浜急



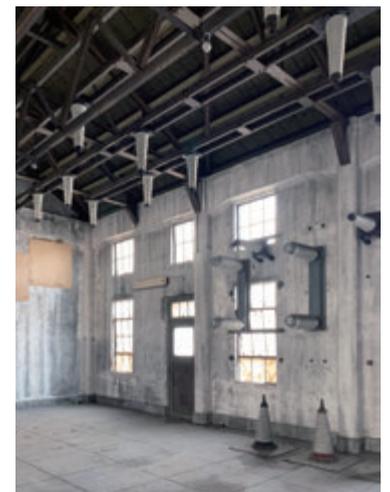
井上良斎窯場には珍しい登り窯が保存されている

行電鉄(株)から建物の寄贈を受けて保存、活用するために行った耐震・地盤調査(平成29年度・平成30年度)の結果に基づき、京浜急行電鉄、横浜市等と取得保存に向けた寄贈範囲など具体的な協議を重ねます。

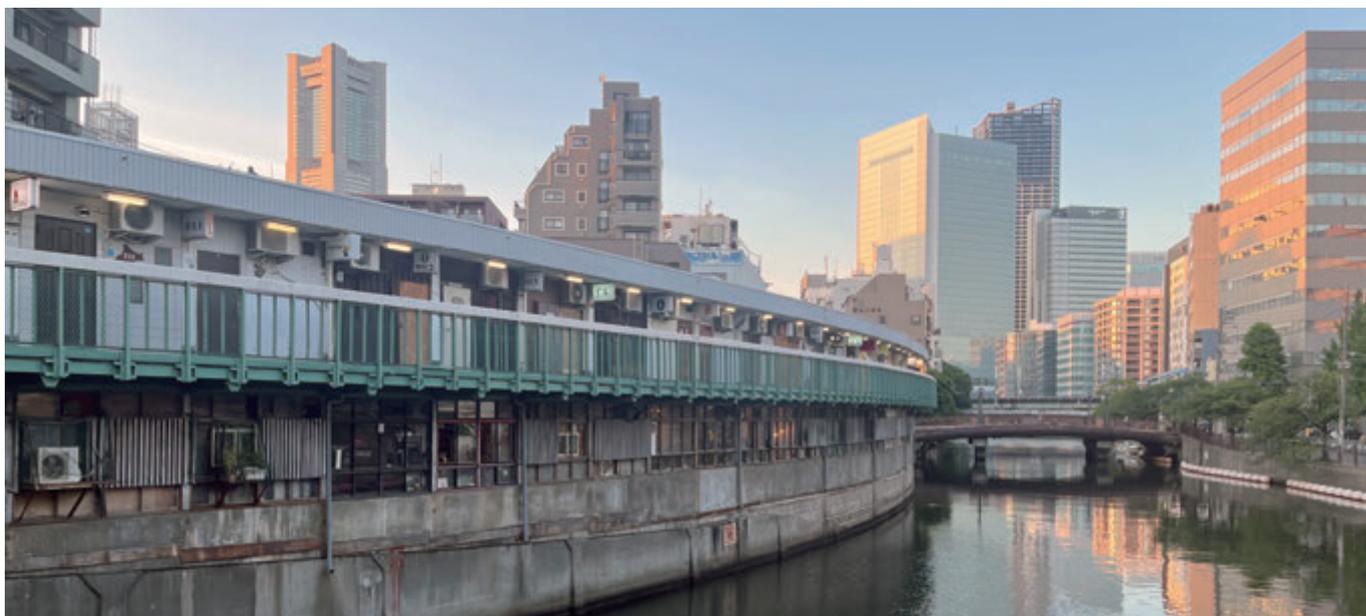
今年度は、令和3年度に行った建物の耐震補強や修理計画、さらに令和4年度に行った事業化の検証を基に保存、活用、管理に関する実践的な仕組みを確立します。このために令和元年度に当公益団が設置した「旧湘南電鉄瀬戸変電所保存活用委員会」を引き続き開催します。また、鉄道文化の交流拠点としての保存、活用、管理の方策を策定します。

③ 建築家J.H.モーガンの自邸(藤沢市)の再建・保存・活用事業の推進

火災で焼失したJ.H.モーガンの自邸を復元再生調査報告書(平成29年度実施)に基づき、再建事業を推進します。公



芸術的内部、旧湘南電鉄瀬戸変電所



横浜野毛の歴史的建造物の要・都橋商店街ビル

益財団法人日本ナショナルトラストから焼失した建物と敷地約2,000坪の内の約3分の1の土地の譲渡を受け、NPO法人旧モーガン邸を守る会、藤沢市、藤沢商工会議所等と力を合わせて再建と活用に向けた資金確保のための募金活動をより推進します。

また、この目的達成のための再建委員会を開催し、先進地の事例研究を行うとともに具体的な再建計画や活用、管理計画を作成します。併せて長年、管理、公開等を行っているNPO法人旧モーガン邸を守る会と敷地の3分の2を所有する藤沢市との連携を強化します。なお、優れたアイアンワークを誇る、中門の国登録有形文化財の登録に向けて文化庁、神奈川県、藤沢市と調整し、実現に向けて手続きを行います。



モーガン邸復元予想図

### (3) 普及啓発事業

#### 〈負担金・受託等事業〉

- ① 横浜市都市整備局からの協定書に基づく負担金事業
  - ・「歴史を生かしたまちづくりセミナー」の開催
  - ・「横濱新聞」第40号の発行
- ② 公益財団法人横浜市緑の協会からの受託事業
  - ・俣野別邸、旧伊藤博文金沢別邸の職員向け研修セミナーの実施
  - ・俣野別邸、馬場花木園旧藤本家住宅で、市民向けの歴史講座等を開催

#### 〈自主事業〉

- ① コンサート in ヘリテイジ「ピアノが案内する横浜の歴史とまち Vol.10」の開催
 

「横浜山手芸術祭」の一環としてピアノコンサートを山手西洋館で開催します。(令和7年2月1日予定)



ピアニスト後藤泉さんとナビゲータ長谷川さんのコラボが人気

#### ② 「シルクロード・ネットワーク・フォーラム2024」の開催支援

シルク産業で横浜に繁栄をもたらした関東甲信越、東北各地等の市町村と連携して発足したシルクロード・ネットワーク協議会の代表幹事団体として、これまで関連市町村で絹文化の啓発や関連する歴史的建造物等の保全、活用をテーマに、NPO法人街・建築・文化再生集団(略称RAC)等と連携し、各地でフォーラムを開催してきました。2024年度の開催地は白川村(岐阜県)で調整中。「シルクロード・ネットワーク・フォーラム・白川郷フォーラム2024」(総会、講演会、シンポジウム、見学会等)の支援をします。

(横浜市、新庄市、福島市、鶴岡市、南砺市、神戸市、横浜市につづいて8回目の開催)

#### ③ 「日本鉄道保存協会馬路村大会の開催支援」

日本鉄道保存協会(1991年設立)の代表幹事団体として、近代化遺産である鉄道遺産(歴史的車両、施設、構造物等)を保存している自治体、鉄道事業者、NPO等の団体等と連携し、2024年度の馬路村(高知県)で開催する同協会の総会、講演会、シンポジウム、見学会の開催支援をします。

#### ④ 全国近代化遺産活用連絡協議会(文化庁)との連携

我が国の近代化に貢献した産業、交通、土木遺産の保存活用を目指して活動する同協議会と連携し、保存活動運動を推進します。今年度の大会見学会は春井市の愛岐トンネル群で開催。



シルクロード・ネットワーク山手西洋館見学会のガイダンス

#### (4) 会員事業

当公益社団の事業への継続的な支援を確保するために、ヨコハマヘリテイジ・サポートクラブ会員の募集と併せて、会員ボランティアによる活動や見学会等を推進します。

#### 〈自主事業〉

- ① 会報誌『ヨコハマヘリテイジスタイル』を年4回発行
- ② ホームページの充実

#### (5) 「歴史を生かしたまちづくり相談室」の運営

横浜市内や神奈川県内には多くの歴史的建造物等の歴史的資産が数多く存在しています。時代と共に取り壊される運命にある対象も年々増えています。しかし、これらの歴史的建造物は、一度壊してしまうと元には戻せません。また、歴史的建造物の老朽化、居住性の低下、修理費、固定資産税や相続税等などが障害となり、保全・活用を行いたくても出来ないで悩んでいる方が多くおられます。

そこで、様々な相談に対応し、瞬時に調査、保全の提案、修理、住まい手紹介、取得等の有効な手当を行うことが必要とされていることから、平成26年に「歴史を生かしたまちづくり相談室」を開設しました。この相談室は、将来にわたる「歴史を生かしたまちづくり」に大切な、歴史・文化資源を確保することを目的として運営に力を注いできました。速攻で現地に出向き、相談に応えます。



歴史を生かしたまちづくりセミナーの会場風景



横浜市緑の協会が管理する馬場花木園旧藤本家住宅



馬場花木園旧藤本家で開催の歴史講座

## ご寄付のお願い

### ■旧モーガン邸再建のための寄付

旧モーガン邸の再建にあたり目標額1億円。現在、たくさんのご寄付を賜りつつあります。引き続き皆様のご寄付を心よりお願いいたします。個人5000円(一口)・団体/企業等100,000円(一口)一口から何口でもありがたくお受けいたします。ご寄付いただいたみなさまのお名前は、再建した建物室内に掲出させていただきます。

### ■歴史を生かしたまちづくりファンド

歴史的資産の保存活動推進のために「ファンド」を創設しています。おいくらからでもみなさまにご寄付をお願いしています。

●振込先：ゆうちょ銀行 口座番号：00270-4-124271

●加入者名：公益社団法人 横浜歴史資産調査会

※モーガン邸再建のためのご寄付には、お振込みの際、お手数ですが「モーガン邸寄付」と明記をお願いします。

※当公益社団法人へのご寄付は、特定公益増進法人のため税法上の優遇措置が適用されます。詳しくは事務局よりご説明させていただきます。

**ご寄付をくださったみなさま、ありがとうございました。**

(2024.7.1 現在)

### ●旧モーガン邸再建のための寄付

徳田裕二	2,000円	氷室敦子	5,000円	大西章夫	2,000円
恵良隆二	5,000円	小川文雄	5,000円	ナカムライサコ	5,000円
渡辺一男	10,000円	佐藤里紗	10,000円	鍋倉 薫	5,000円
木阪尚志	5,000円	金木伸浩	5,000円	桑山直子	10,000円
山崎哲也	5,000円	徳重淳子	10,000円	大西政司	5,000円
				石黒 充	10,000円

### ●歴史を生かしたまちづくりファンド

下間久美子 18,000円

# 『シルクロードでつなぐ街と人 絹遺産は私たちの宝』

シルクロード・ネットワーク協議会代表幹事団体  
公益社団法人横浜歴史資産調査会  
常務理事 米山淳一

## 開催報告

シルクロード・ネットワーク協議会は設立10年目を迎え、これを記念して第一回目の開催地である横浜で、令和6年3月16日(土)・17日(日)に再び大会を開催いたしました。

すでにご高承のとおり、横浜は開港後の明治期を中心に生糸貿易の拠点として繁栄してきました。その足跡は、歴史や文化となり語り継がれる一方、市内に目を転ずれば、三溪園をはじめ各所にかけての歴史文化遺産となつて息づいているのです。

また、全国には横浜と生糸や織物などの絹製品を介して交易のあった市町村が多数あり、今でも横浜との繋がりを誇りと感じているところが多いのです。しかし、肝腎の横浜市民は横浜が生糸貿易の一大拠点だったことや、絹製品繋がりで、全国に開けたまちであった事への認識が欠けていると感じます。ありがたいことに横浜と言えば、日本で一番住みたい町、モダンでカッコいい町などのイメージがあます。こうした町のイメージの根幹は、シルク貿易に始まった横浜の歴史文化にあることを忘れてはなりません。

「すべての道は横浜へ続く」の通り、シルクの道もこれを運んだ鉄道も東京ではなく、横浜に続いていたのです。我が国の近代の生活文化を見つめ直すとき、シルクロードとレイルロードはその要といえるでしょう。

二日間にわたる大会では、会員相互の親睦をはかるとともに絹文化を共通の財産として伝承し、あわせてより多くの仲間が参加できるよう、ネットワークの輪を広げてゆくことを確信いたしました。

### ●開催日時・場所

- ・ 期日／令和6年3月16日(土)、17日(日)
- ・ 場所／16日見学会：横浜山手地区  
17日フォーラム：横浜みなと博物館会議室

### ●実施プログラム

- ▶ 3月16日(土) 見学会「絹遺産、山手の洋館を巡る」
  - ・ 12:40～13:00 みなとみらい線元町・中華街駅改札口(6番アメリカ山公園口)集合
  - ・ 13:00～16:40 ベーリック・ホール(ガイダンス)、山手234番館、エリスマン邸、山手111番館、イギリス館
  - ・ 17:30 情報交換会(中華街・菜香新館)
- ▶ 3月17日(日) フォーラム
  - ・ 12:40～13:00 受付・開場  
開会挨拶 米山淳一(公益社団法人横浜歴史資産調査会常務理事・RAC理事)  
星 和彦(NPO法人 街・建築・文化再生集団理事長)
  - ・ 13:15～14:20 基調講演  
『横浜の繁栄を支えた絹貿易』西川武臣氏(横浜開港資料館長)  
『世界文化遺産「白川村合掌造り民家」は養蚕民家だった』三島敏樹氏(白川郷田島家養蚕展示館長)



見学会のガイダンス会場になったベーリック・ホール

- ・ 14:30～16:30 各地からの報告(質疑応答・意見交換)  
コーディネーター：後藤 治(工学院大学理事長・公益社団法人横浜歴史資産調査会理事・RAC理事)
- 報告者：山形県鶴岡市、新庄市、長野県千曲市、群馬県前橋市、甲州市、南牧村、埼玉県川越市、日野市、神奈川県横浜市、富山県南砺市、兵庫県神戸市他
- ・ 16:30～17:00 閉会・総括

### ●開催風景

#### ◆3月16日山手地区見学会

横浜山手地区は、開港以来、外国人の居住地として開かれた居留地でした。アメリカ、イギリス、ドイツ、イタリアなど多くの外国人、特に領事や軍人、貿易商などが住んでいました。その戸数は約300。しかし、関東大震災でほとんどの建物が倒壊しました。

その後、外国人用の住居が再建されました。現在、見られる西洋館はその当時のものであり、明治期の建物はありません。幸い横浜市が7棟を取得、保存、公開(うち1棟は東京から移築)しております。また個人でお住いの西洋館がまだまだあります。山手の歴史と文化の証として大切な歴史的資産であり、これらを末永く伝え残すためには、なんらかの方策を打つ時期に来ております。文化庁の重要伝統的建造物群保存地区や国交省の歴史的風致維持向上事業などが考えられるでしょう。

見学会は、西洋館を管理公開している公益財団法人横浜市緑の協会の後援のもと、ベーリック・ホールをお借りし見学者へのガイダンスを行いました。まず同協会の山手西洋館統括の大橋早苗さんから西洋館の現状をお話いただき、その後、参加者を3班に分け、小田島鉄朗さん(横浜市みどり環境局公園緑地部長)、亀井泰治さん(元都市デザイン室)、米山淳一(ヨコハマヘリテージ)



山手はいつも多くの人であふれている



モーガン設計の外国人墓地の正門



フォーラム会場風景



西川武臣開港資料館長



三島敏樹白川郷田島家館長



緑の協会・大橋さんからのご案内



中華街での情報交換会



新庄市の加藤明さんの事例報告



藤井美登利さんとシラーさん

が皆様を山手西洋館巡りにご案内いたしました。

ベリック・ホール→歴史的西洋館群→エリスマン邸→西洋館レンガ基礎遺構→234番館→111番館(ラフィン邸)→イギリス館(旧イギリス領事公邸)→みなとの見える丘公園をめぐり、終了後に中華街で情報交換会を開催いたしました。

### ◆ 3月17日(日) フォーラム

フォーラム会場には、90名を超える皆様が全国から参加されました。最初の講演は西川武臣氏(横浜開港資料館長)で、西川さんには日米修好通商条約で開港した横浜の絹貿易に関するお話をいただきました。質の高い我が国の生糸は、当初はフランスなど欧州への輸出が主でしたが、大さん橋が完成するとアメリカが主な輸出先になりました。また、横浜港からは生糸だけではなく、絹製品、蚕種も多く、さらにお茶の輸出も盛んでした。しかし、関東大震災で横浜は壊滅。絹貿易の主流は神戸に移りました。壊滅した結果、貴重な輸出関連資料も消失し、当時の記録や記憶を失った街になったと締めくくられました。

2本目の講演は、三島敏樹氏(白川郷田島家養蚕展示館長・元荻町の自然環境を守る会長)で、世界文化遺産に登録された白川郷の合掌造りの民家についてお話いただきました。三角のかやぶき屋根をもつ合掌造り民家は、生糸の生産工場でした。多層建てで1階は住居、2階はお蚕さんの部屋、3階は物置になっていて、2階でお蚕さんを飼い、繭を集め、糸をとっていたのです。三島さんが初めて合掌造り民家でその様子を実演して見せてくれたので

す。それが「田島家」です。白川村には113棟の合掌造りがありますが、昔のようにお蚕さんを飼っているのは田島家だけです。繭、生糸、絹製品、資料展示など魅力あふれる展示館になっています。

### ◆ 各地からの報告とお話し

講演の後は、10団体が活動報告をされました。これを受け、後藤治さん(工学院大学理事長)がコーディネーターとなり話し合いが行われました。10年目を迎え、仲間も増え、活動も活発化し、絹文化を大切にし、まちづくりや地域活性化などに生かす事例が増えてきました。恐縮ですが、事例報告者の所属とお名前を記させていただきます。大会テキストをご入用のかたは、事務局にお申し出ください。引き続き、みなさまと力を合わせてネットアークの輪を広げてゆきたく存じます。

高橋典子／シルク博物館副館長

加藤 明／新庄市役所クールジャパン推進室

千種 浩／元神戸市文化財課

飯島 泉／甲州市役所

秦 哲子／日野市ふるさと文化財課

佐藤直翔／鶴岡市政策企画課

今井泰徳／南牧村総務部・雇用推進課行政改革係

藤井美登利／NPO川越きもの散歩

佐々木利幸／佐々木寺社建築(南砺市)

岩崎桂治／前橋絹文化研究会



山手西洋館見学会の記念撮影。2024年3月16日

— 第46回 —  
**「歴史を生かしたまちづくりセミナー」**

表記セミナーを下記の内容で開催いたします。今回は「西洋館はみんなの宝」と題して、三重県桑名市から六華苑（重要文化財）館長の石神教親氏等の講演、また函館、神戸からゲストを招いて「山手西洋館の明日を考える」と題してシンポジウムを行います。

- 日時：9月28日（土）14:00～16:30
- 場所：ベーリック・ホール
- 参加費：500円（ヘリテージ会員は300円）
- 定員：50名

六華苑

事前申し込み制  
 ※8/10（土）  
 10時からベーリック・ホールにて電話または来館受付  
 電話：045-663-5685



静かな住環境が保たれている横浜山手地区



西洋館が建ち並ぶ神戸市北野の町並み



函館市公会堂は町のシンボル

**日本鉄道保存協会  
 2024年度総会・見学会  
 10月18日（金）・19日（土）  
 場所：高知県馬路村**

「ゆず」産品で有名な高知県馬路村は、明治44年、国内3番目の森林鉄道が敷かれた高知の中芸地区にあります。安田川沿いの田野～馬路間に森林軌道が敷かれ、さらに魚梁瀬まで支線を伸ばしました。森林鉄道は昭和38年に廃線になり軌道は撤去されましたが、隧道や橋梁が残っていてこれらのうち18件が重要文化財に指定されている鉄道遺産保存活用先進地といえるエリアでの開催になります。詳細については、後日お知らせいたします。



魚梁瀬で動態保存されている酒井式C16型ガソリン機関車

国指定重要文化財のオオムカエ隧道



国指定重要文化財の明神口橋



**受付中!**

**歴史を生かしたまちづくり相談室**

老朽化、修理費、固定資産税、相続税など歴史的建造物に係るご相談を付けています。ご相談は、ヨコハマヘリテージ事務局まで。  
 TEL・FAX 045-651-1730 E-MAIL yh-info@yokohama-heritage.or.jp

■『ヨコハマヘリテイジスタイル 2024年夏号』 ■発行/2024年7月 公益社団法人横浜歴史資産調査会  
 ■事務局/〒231-0012 横浜市中区相生町 3-61 泰生ビル405  
 TEL・FAX/045-651-1730 E-MAIL/yh-info@yokohama-heritage.or.jp  
 ホームページ <http://www.yokohama-heritage.or.jp/>